

令和 4(2022)年 12 月 10 日(土)
多摩大学附属聖ヶ丘中学高等学校
校長 石飛 一吉
高校 1 年学年主任 出岡 由宇

多摩市×多摩大学附属聖ヶ丘中学高等学校 探究学習の歩み報告

2020 年度の多摩市若者会議参加をきっかけに、多摩市役所企画課の皆様を中心とした「大人たち」と本校の中高生による交流が始まりました。

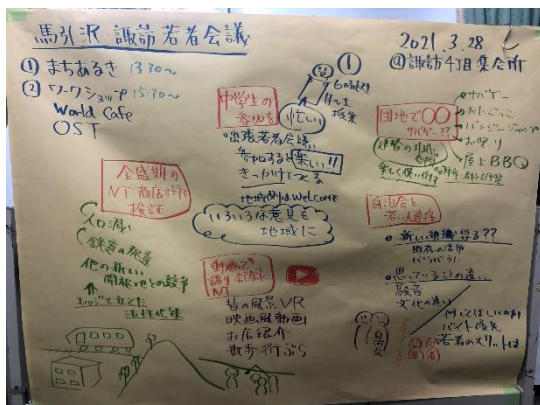
1 学年 120 名の少人数からなる中高一貫校の本校では、2022 年度より本格的な探究学習が始め、グローバルや SDGs ではなく、お世話になっている足元の多摩市をのことにについて学び、多摩市に成果を還元する独自カリキュラムを構築して考えております。こういった展開が可能になったのも、ひとえに多摩市役所の皆様や、中高生を温かく迎え入れてくださっている多摩市民の皆様および多摩市というフィールドのおかげです。本資料では、これまでの展開の概略をご報告させていただきます。

▼探究学習カリキュラム開始以前の取り組み

「2020-2021 多摩市若者会議/馬引沢・諏訪地区フィールドワーク」

コロナ禍で生徒活動が制限される中、Zoom による多摩市若者会議や、様々な年齢層の方々と対話・議論ができたフィールドワークが、中高生に大きな自信と影響力を与えたという点で教育的効果は非常に大きかったと感じております。

参加生徒> 中学 2 年生(当時) 12 名



▼2022 年度 探究学習カリキュラムと紐づく取り組み

「市役所の大人と話そう①(0413)」

「市役所の大人と話そう②(0427)」

探究カリキュラム対象となった高校1年生生徒を対象に市役所の大人たちと話ができる機会を設けたところ、生徒から30名以上の希望者があり、2回に分けて議論をする機会をいただきました。

多摩市に対する素朴な疑問や、多摩市をフィールドにして実現したいアイデアのブレストなど、本校探究学習の充実につながる素晴らしい第一歩となりました。

参加生徒>高校1年生 34名



「多摩市街づくりシミュレーションゲーム(0615)」

多摩市で展開されている街づくりシミュレーションゲームを実際に体験し、高校生視点で内容のブラッシュアップについて考えました。このあたりから多摩市での具体的な行動を考えたいという生徒が増えてきたという印象です。

参加生徒>高校1年生 16名



生徒感想) まず初めに思っていた以上に面白く、楽しく遊び、学ぶことができました。 事前に資料をいただいていたので「ゲームの流れも掴めているから、うちの班の行政はうまく行くはず!」と思った矢先の

『ゆるキャラ事業』。プレイヤーの考えを計算していたのかと思うと「作り込まれているんだなあ」と改めて感じました。そしてこのゲームを通して市役所の仕事に少し興味が出ました。まち、住民、の未来を背負うと共に、住民のニーズにも応える。他にもまちを活性化させるために知恵を働かせて時代に合った対応をしていく難しい上に楽しくやりがいのある仕事なのだと思います。

「多摩センターの今を知る(0723)」

「市役所企画『火を囲もう』参加(0910)」

多摩センター未来デザイン検討委員会主催のイベントに生徒が参加。多くの街の方とお話をする機会になりました。

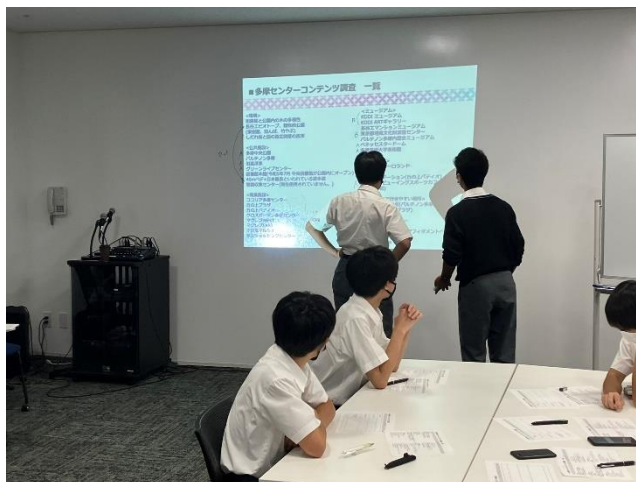
参加生徒>高校1年生 3名



「東京都委託事業『多摩市スタディツアー』企画運営(0921-)」

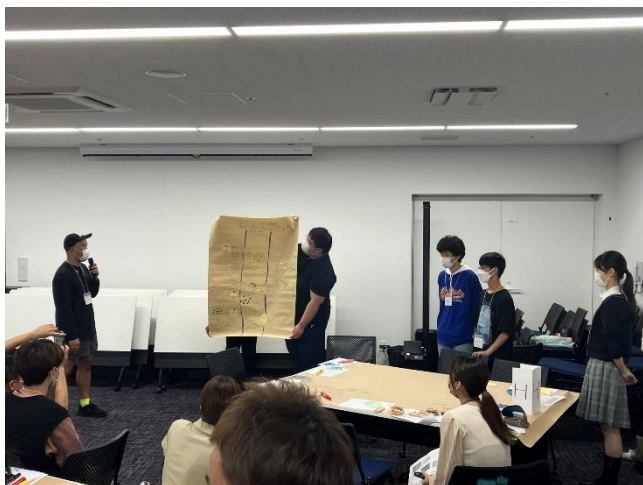
経済観光課からお声がけいただき、採択地域で唯一の高校生によるツアー立ち上げを協働させていただくことに。高校1年生より有志を募り、現在進行形で「多摩市の魅力×サステナブルな観光ツアー」を作っております。12月後半にツアーアイデアの確定。2月にプレツアー、年度末にツアー実装に向けての最終プレゼンテーションを控え、考察を深めております。

参加生徒>高校1年生 21名



「2022 多摩市若者会議(0923)」

待ちに待った対面開催となり、探究で中心となっている高校1年生以外の生徒を対象に融資の声掛けを行いました。結果、中学3年生が5名、高校2年生が2名参加をし、多摩市を考える層の裾野が広がっていると思います。



「本校『探究基礎』授業出張(1026)」

1学期に座学で探究に必要な考え方や調査方法を学び、10月から多摩市の課題発見のためのフィールドワークを本格開始しました。足を運び、目で見、待ち行く人に話を聞いて、生まれた疑問や課題の種を市役所の皆様にぶつけ、議論をする機会をいただきました。

総勢12名の職員の方に来校頂き、みっちり1時間半、お付き合いいただきました。



生徒感想) 多摩市市役所の教育科の職員の方とお話をして、私たちが行った諏訪南公園もスポーツ場所としてお金を払って利用できるという取り組みを行っていたことを知った。しかし、まだまだ改善点も沢山あるようで、スポーツする場所とピクニックのようにつろぐ場所が同じで危なくないのかなどの市民の声も寄せられているようだ。学生からの目で見てもまだまだ改善するところは沢山あるようなのでこれからも探して考えていきたいと思った。

「パルテノン多摩 街づくりディスカッション(10月以降毎週水曜)」

特筆すべき活動として、この活動が挙げられます。パルテノン多摩 4F 会議室で毎週水曜日に開催されている多摩センター未来デザイン会議に、放課後、生徒が寄り道をするようになりました。もちろん学校として一切強制もしておらず、各自が自分の気付きやアイデア、フィールドワークの成果などを報告する機会となりました。



「二学期フィールドワーク成果発表『街なか期末テスト』(1209)」

今年度の活動の集大成として、昨日 12 月 9 日(金)におそらく全国初となる「街なか期末テスト」を行いました。14:00-16:00 の間、2 学期に取り組んだフィールドワークの成果を、本校高校 1 年生全員が、パルテノン多摩前の通りにて発表しました。今回の取り組みは、市民投票方式でその得票数を成績加味する「定期テスト」として扱うという企画で、多くの教育関係者から取材も受けた次第です。

